

CONTENTS

トップメッセージ	02
住友重機械グループの概要	03
住友重機械グループと社会とのかかわり	05
HIGHLIGHTS	07

環境への取り組み

住友重機械グループ 第4次環境中期計画	09
環境マネジメントシステム	11
環境目標(中期計画)と実績	12
地球温暖化防止活動	14
循環型社会指向の活動	16
化学物質管理活動	17
海外工場における環境管理活動の強化	18
環境負荷データ	21

社会とのかかわり

社会貢献活動	27
--------	----

編集方針

本報告書は、住友重機械グループの環境活動、社会貢献活動に関する取り組みや考え方をまとめ、ステークホルダーの皆様にご報告するものです。

現在は第4次環境中期計画(2014~2016年度)の目標達成に向けて取り組んでいます。

第4次環境中期計画の概要をご理解いただくため、平易で簡潔な表現に努めるとともに、グラフやイラスト、写真を多用し読みやすさを心がけました。

なお、本報告書の発行に当たっては、環境省の「環境報告ガイドライン(2012年度版)」および「環境会計ガイドライン(2005年度版)」を参考にしています。

対象範囲

住友重機械工業株式会社およびグループ会社を報告対象としています。

対象期間

2015年4月1日~2016年3月31日

発行時期

前回:2015年10月

今回:2016年9月

免責事項

本報告書には、住友重機械グループの過去と現在の事実だけでなく、発行時点における計画や見通し、経営計画・経営方針に基づいた予測が含まれています。これらの計画・見通し・予測は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸与件の変化によって、将来の事業活動の結果や事象が記述内容と異なったものになる可能性があります。

また、データは過去に遡って精査することにより、過去の環境・社会報告書の数値と異なっている場合があります。

トップメッセージ

「住友の事業精神」に基づき、 持続可能な社会の実現に貢献する 一流商品とサービスを提供していきます

ステークホルダーの皆様には、日頃より当社グループの企業活動にご理解とご支援をいただき厚く御礼を申し上げます。

当社グループは、2015年11月に住友重機械コーポレートガバナンス基本方針を制定しました。環境問題への取り組みについては、同基本方針の中で、

「当社は、住友重機械グループ環境方針を制定するとともに、環境中期計画を策定することにより、環境問題の解決に積極的・能動的に取り組めます」

と規定し、グループを挙げて活動しています。

具体的な活動については、第4次環境中期計画(2014~2016年度)において推進してきました。第4次環境中期計画は、

- 環境リスクマネジメントの推進
- 低炭素社会に貢献
- 資源循環型社会を実現
- 地域貢献/生物多様性への取り組み

を基本方針としており、最終年度である2016年度は、目標達成を目指して海外グループ会社を含めた環境活動をより一層推進いたします。

当社グループの事業環境は刻々と変化し、社会的要請も日々変化しています。そのような中で、2015年当社は、経営状況や事業環境の変化を踏まえ、16年ぶりにグループの「経営理念」を改正しました。今後、この「経営理念」を事業活動の機軸および当社グループ社員の活動の原点としていきます。

従来より取り組んできた地球温暖化防止をはじめとする環境活動は、常に重要な社会的要請の一つであり、また、「住友の事業精神」および、「誠実を旨とし、あらゆるステークホルダーから高い評価と信頼を得て、社会に貢献します」とする当社の新たな「経営理念」にかなうものです。

私自身が環境活動の重要性を強く意識し、各事業部グループ会社のトップをはじめ、当社グループ全員へ真摯に、地道に、具体的な展開を図ります。

2016年度版の環境・社会報告書に記載しました環境に関する当社グループの様々な活動を推進するに当たっても今回改正した「経営理念」に基づき、第4次環境中期計画を、シンプルでわかりやすく社員に伝えることで、ひとりひとりの力を最大限に引き出していきたくと考えています。

当社グループでは今後ともより多くのステークホルダーの皆様当社グループの活動を認識していただくことで、皆様からのご意見をより多く頂戴し、それらを様々な活動に反映することにより、停滞することなく常に自らを変革しながら目標を着実に実現していきます。

皆様のご意見ご助言を賜り、今後の取り組みの参考とさせていただきます。いただければ幸いです。



代表取締役社長

別川 俊介